

親子ふれあいフェスティバル（運動会） に向けての取り組み

『加幼 アニマルランド』

～わたしってすてき！ あなたのすてきもみつけた！～

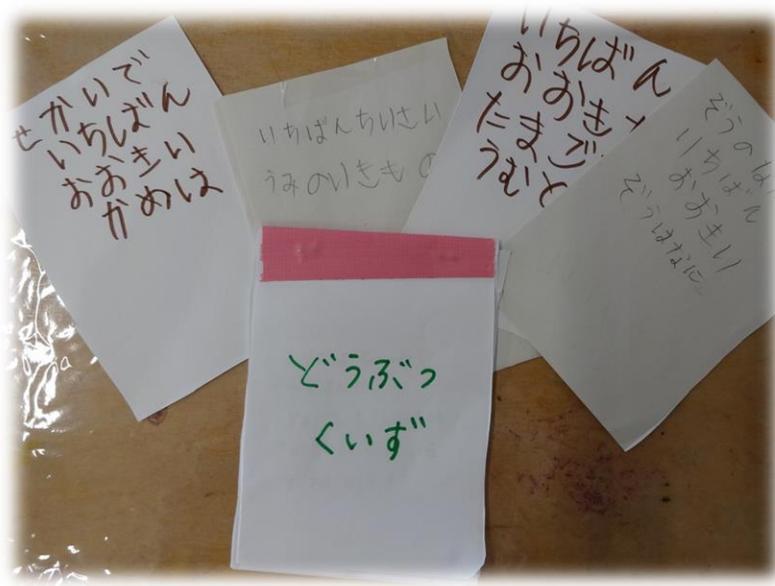


今年度の夏祭りでは、年長組のコーナーの中で、恐竜やライオンなど、いろいろな動物を自分たちで考えて制作したり、どんなふうにもその動物になりきれられるのかを考えて、取り組んだりしてきました。招かれた年少・年中組の子たちが、本物を彷彿とさせるそのコーナーにとっても心を動かされていました。

年長組の子たちがなりきって取り組み、年少年中組の子たちがとても感動した「生き物」を取り入れた親子ふれあいフェスティバル(運動会)にしてはどうかと職員で話し合い、テーマを、『加幼アニマルランド』～わたしてすてき！ あなたのすてきもみ一つけた！～として、子どもたちにも伝えていきました。

生き物は、走ることが速い動物、水の中を泳ぐ生き物、土の中を潜る生き物…さまざまな特徴をもっています。また、視覚的な特徴も様々です。それぞれ特徴は違うけれど、同じ地球上で生活をしています。それは、私たち人間にとっても同じ事が言えるのではないのでしょうか。

世界には2人として同じ顔の人はいません。人には得手不得手があります。“みんなちがってみんないい”という金子みすずさんのことばのように、人にはそれぞれの違いがあります。自分と自分の周りの人の、よいところもそうでないところもお互いに認め合って受け入れ合っていけるような子どもたちになってほしいと考えています。



いきなり、「テーマは生き物だよ。」と言って押し進めるのではなく、遊びの中で動物や様々な生き物を取り入れて、子どもたちが自然と生き物に気持ちに向くように働きかけていきました。思い出の森で動物探しをしたり、廊下に動物クイズが貼られたり、自分たちでもクイズを作ってみたりして、生き物・動物を取り入れていきました。



加納幼稚園は、「親子ふれあいフェスティバル(ここでは運動会と表記させていただきます)」に向けて、毎日遊ぶ時間もなく練習する、ということとは決してなく、いつも通りの生活の中で、子どもたちの興味のあることや楽しめることを基盤に、また時には教師が新しい遊びを紹介したりしながら、体を動かすことを楽しんでいます。

このように体を動かす遊びをたくさん取り入れていくことで、子どもたちの運動会に向けての気持ちが少しずつ高まっていきます。

3歳児



3歳児の子どもたちは、とにかく毎日元気いっぱいです。これまで楽しんできた砂遊びや色水遊び、固定遊具での遊びも楽しみつつ、園庭に準備されているものを見ると「なになに、これ、やってみたい！」と、自分たちでやってみる姿があります。トンネルをくぐってみることで身をかがめて進んだり、フープをケンケンパをしたりしてして跳んでみたりして、いろいろな体の使い方を学んでいきます。

3歳児は、「～しながら・・・する」という活動が少しずつできるようになってきます。手を広げながら一歩ずつ前へ進む平均台、先生や友達の動きを見ながら自分もまねをして手を動かしてみたり踊る体操やダンス、綱を見て引っ張る綱引き、カゴを見ながら、玉を投げ入れる玉入れ・・・たくさんの動きを習得していきます。

3歲兒



3歳児の子どもたちが楽しみながら体を動かす遊びを、どんどん取り入れています。

登り棒を登ったり、鉄棒にぶら下がってみたり、平均台に恐る恐る登って渡ってみたり・・・体を動かす楽しさを、全身で楽しんでいきます。

3歳児



3歳児は、とにかく走ることが楽しい！走っているだけで楽しい！という姿があります。

子どもたちは、園庭の至る所で、体を動かして遊んでいます。

「押して～」と先生に言っていたブランコも、一人で漕げるようになり、ボール遊びや風船遊びも、自分たちで遊ぼうとする姿が見られます。

運動会当日も、元気いっぱい走って体を動かし姿を見ていただくことができるといいなと思っています。

ですが、運動会は、おうちの人もたくさんいて、雰囲気もいつもと違うため、不安になったり、おうちの人と離れられなくなったり、いつもは元気いっぱい走っているのに、運動会当日に限って「走らない。」と言ったりすることもあるかもしれません。おうちの人、「走れなかった。」と残念に思われるかもしれませんが、そうした子どもたちの葛藤する気持ちをご理解いただき、来年、再来年の成長を楽しみにしていただければと思います。

運動会や生活発表会などの行事は、どうしてもその日の姿で子どもたちのことを評価してしまいがちですが、その日に至るまでの取り組みについて、ホームページも再度ご覧になっていただいたり、担任からの話も聞いたりしながら、過程を褒めて認めてあげていただけたらと思います。

4歳児



4歳児の子どもたちは、体を動かす楽しさに加えて、“自分はたんぽぽ組”“自分と〇〇ちゃんはれんげ組”というようなクラスの意識も強くなり、みんなで一緒に取り組む楽しさを感じつつあります。

みんなで同じ遊びが経験できるように、みんなで集まって玉入れをしたり、かけっこをしたりしています。時には年長組のリレーごっこに参加させてもらうこともありました。最初は、その遊びが楽しくてやってみたり、友達や先生が遊ぶ様子を見て、様子を伺いながら入ってくる子、なかなか入れない子をさり気なく誘いにいく子もいて様々ですが、徐々にクラスみんなで楽しむようになってきました。